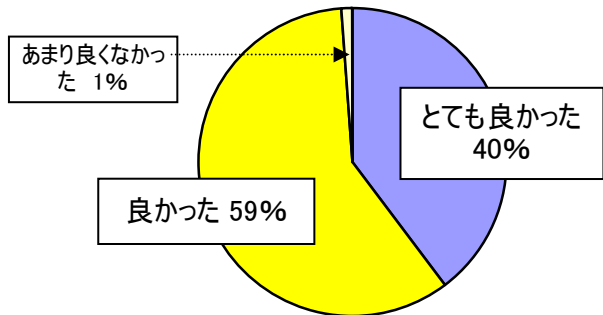


平成23年度「学校と地域を結ぶコーディネーター担当者新任研修」における「学校支援メニューフェア」アンケート集計結果(教職員)

■期日:平成23年8月5日(金) ■会場:ピアザ淡海
 ■対象:小・中・高等学校・特別支援学校等教員(83名より回答)

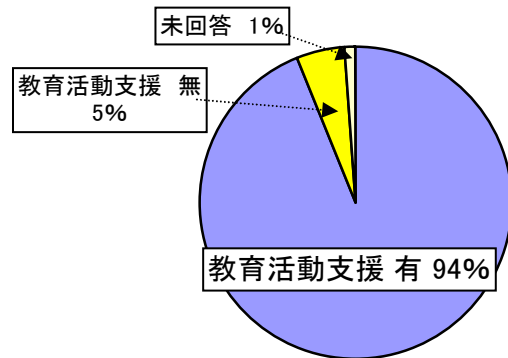
1 今回の研修(講義・ブース出展・支援者と教職員等の交流会(パネルディスカッション))は、どうでしたか?

研修の満足度



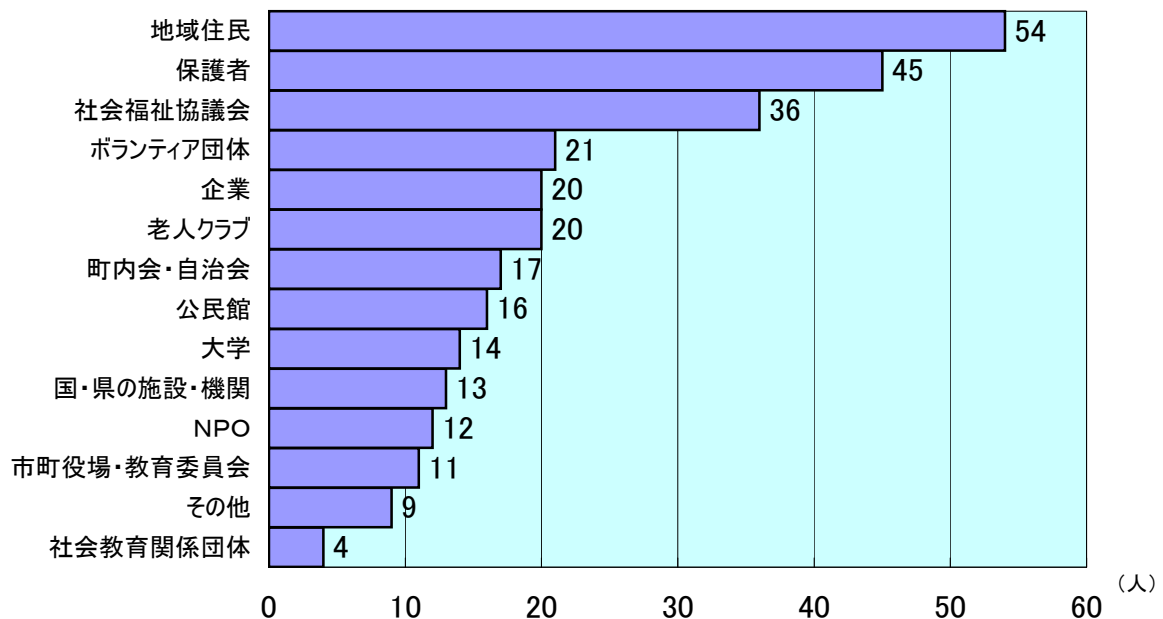
2 学校における地域や専門的な知識・技術をもった方々から、教育活動支援を受けたことがありますか?

教育活動支援の有無



3 今までに、どのような方々から支援を受けていますか?(複数回答)

(支援を受けている対象)



4 支援を受けた場合、どのような効果がありますか？（複数回答）

回答の多かった順に…

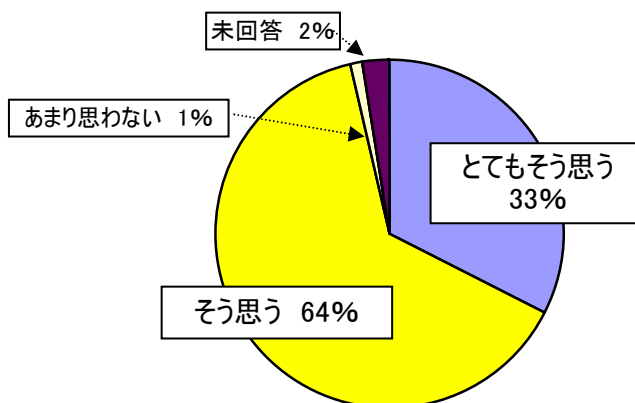
- ①子どもたちの学習に対する意欲、関心度が高まる（63人）
- ②知識や理解、豊かな学びの広がりがある（48人）
- ③学校と地域との連携が深まる（45人）
- ④子どもと地域の人との結びつきが深まる（42人）
- ⑤学校での教育や活動が活性化する（34人）
- ⑥これからの授業の参考になる（8人）

5 学校支援を受けるにあたっての課題や問題点は何か。（複数回答）

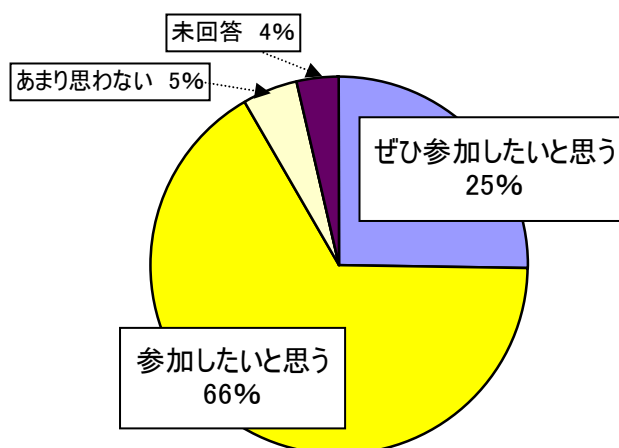
回答の多かった順に…

- ①予算がない（48人）
- ②担当する教員の負担が増える（44人）
- ③どういう人がいるのか、わからない（40人）
- ④打ち合わせの時間がとれない（36人）
- ⑥相談する人や機関がない（15人）
- ⑤他の教員の理解・協力がいい（6人）

6 企業や団体等、学校外部からの支援や協力があると、教育活動がより充実すると思うか。



7 今回のような企業・団体等が「学校支援メニュー」を紹介する機会があれば、参加したいと思うか。



研修の満足度 自由記述欄

【とてもよかった】

- ・ 学校と地域を結ぶコーディネーターと言われても何をどうしていいかわからずとまどっていたところに見通しを与えて頂きました。
- ・ 越田先生のお話から、コーディネーターの責任の重さを改めて感じました。どうしても負担が増えてしまいがちですが、そうならないコーディネートが大切です。ブースの見学は意義深かったです。是非学校で広め、学年に合った紹介をしていきたいと思いました。パネルディスカッションも実際の支援をお話して下さり参考になりました。
- ・ パンフレットがわかりやすく多く提示されており、すぐにでも使える内容が数多くありました。
- ・ 企業の方に具体的にどんな形での授業をしていただけるか、直接説明していただき、よく理解することができました。1年に1度はこういう説明を企業から直接聞きたいです。
- ・ 出前授業や職業講話などに活用できる資源がたくさんあることがわかり、とてもよかったです。
- ・ 本校では10数年前から続いているものだけでも、7つの事業所と連携した実践がおこなわれています。これは本校が特に先進的な実践をしている訳ではありませんが、既にふつうに行われている連携も、継続的に行っていくためのヒントをいただけたように思えます。
- ・ 子どもは社会全体で育てたいです。各ブースがとても熱心で熱意を感じました。
- ・ ブース出展は、大変わかりやすく説明していただきよくわかりました。今後、利用していきたいです。
- ・ 講義については、学社融合するときのポイントをいろんな事例を含めて学ぶことができました。またブースの見学は「こんな取り組みをしているのか」という内容が多くあり、よかったです。
- ・ 紙の資料やネット上ではいろいろ知っていましたが、具体的なものを見られました。どの内容もとても熱心に考えておられたし、積極的に受け入れたり、出張授業等の企画をされているので、ありがたいと思いました。
- ・ 実際に話をすることによってイメージがつかえました。恵まれた環境だと思います。校内の職員に理解・紹介できるようになると良いと思います。
- ・ 滋賀の戦争体験やキャリア教育に関わる出前授業など、パンフレットだけではわからない魅力を知る機会となりました。ブース出展で説明して下さる方々もたいへん魅力的な話し方で、私たち教員が学ばなければならないと実感しました。
- ・ 講義…お話しもわかりやすく、いろいろな事例を通して学社融合において大切にすべきことがわかりました。
- ・ ブース出展…たいへん興味深く回らせていただきました。学校へ帰って紹介したいと思いました。より多くの職員にこういう機会があれば、熱意が伝わるのではないかと思います。
- ・ 各ブースの方々の熱心な姿に驚きました。これだけ前向きに考えておられる方々を見ていると何かお願いしてみたいと思いました。たとえば、支援団体に交通安全教室に協力してもらおうと気持ちよく活動ができると思いました。
- ・ メニューについては知っていましたが、具体的な内容について初めて知ったこともありました。学校に伝えていきます。
- ・ メニューの紹介の表や説明では具体的なイメージが湧かなかったのですが、実際に見て話を聞くと、授業場面が浮かんできて有効的でした。
- ・ 小学校の学習として生かせるようにうまく考えられているものが多く、すぐにでも活用したいと思うものがたくさんありました。実際に活用された講義は例をあげながら、どういう風に地域とつながっていくことが大切なのか知ることができ、ブース出展では資料やグッズを使ってわかりやすく説明して下さりました。出前授業のアイデアを教えてもらったので、学校に帰って、伝えていきたいと思います。
- ・ 出前授業等いろいろな分野であることがわかり、活用していこうと思いました。
- ・ 講義は実践例もあげられており、内容もとてもわかりやすかったです。ブース出展も丁寧に説明して頂き、今後の参考にしていきたいです。養護学校のため、内容は限られてしまうかもしれませんが、学校と企業・団体等相互でよい取り組みができるのではないかと感じました。
- ・ 子どもたちが変わり、保護者や地域が変わる、学力があがる、教師の負担が軽減される学社融合ということで、多くのヒントを頂き、大きな刺激となりました。校内に働きかけ、積極的に活用したいです。学校の要望と企業等支援者の思いが合って初めて効果があがる、その視点はあまりなかったかなと思いますが、双方の思いが合致するようコーディネートする大切さを痛感しました。

- ・ すばらしい実践の話は夢を与える取組だと感じ、子どもの変容、大人の変容がとてもよくわかりました。コーディネートの大切さを感じるとともに、いろいろな人とのつながりをつくっていかないといけないと責任を感じました。
- ・ 企業・事業所の方が、この企画にとっても積極的に参加を希望されていることがよくわかりました。
- ・ コーディネートのポイントを具体的な実践と視点から学ぶことができ、大変よかったです。本物にふれさせるために企業等との連携をもつことの大切さにも改めて気づくことができました。効果的な連携授業のために、企業側に具体的なニーズを伝えること、学校の授業での指導の役割をはっきりさせること、大切さを学ぶことができました。様々な「学校支援メニュー」があることに驚かされ、いろいろなビジョンが思い浮かび、意欲をもつことができました。
- ・ 本来ならこちらが交渉してお話しさせてもらわなければならないのですが、企業等の方々が一堂に会しておられたので、大変便利で役立つありがたいものでした。大変、参考になりました。
- ・ 実際に現物を見ながら説明を受けられ、授業イメージが描けました。
- ・ 熱意をもって各団体の方々が接していただき、ありがたかったです。今の学校の授業で、自分たちの知識をどこでつかえるのかわからないような発言もあり、参加されている団体に教科書を配布するなども、必要かと思いました。
- ・ 日頃のコーディネートとは少し違う形ですが、発想法などはとても参考になりました。また、直接かかわりがなくても大きな意味では大切なことと感じました。
- ・ 外部コーディネーターの育成等、今まで疑問に思っていたり、どうしてもできなかった部分のことを教えて頂けたように思います。

【よかった】

- ・ 越田氏の今までのエピソードを交えた講義・演習は新鮮な感動となり、エンパワーとなり、活力が湧いてきました。
- ・ 講義が大変わかりやすく、コーディネートする上で大切なことなど学べてよかったです。実践上の課題も伺えるとさらによかったと考えます。
- ・ ブース出展はよかったです。企業の教育活動に対する熱意や工夫などもすごく感じられ、使っていけたらいいなと思いました。
- ・ ブース出展では、様々な企業や団体が多かかわっていることに驚きました。学校教育に生かすことができるメニューが数多く提供されていることを初めて知り、今後ぜひ取り入れていきたいと思います。また地域コーディネーターとして、外部コーディネーターの方との関わりを今後密にしていきたいと思いました。
- ・ 冊子を読んでいるだけではわからないことが多くあったように思います。「コーディネーターが知る事」が子どもたちのためになり担任の助けになるんだと感じました。
- ・ どのような企業・団体が、どのような内容で支援頂けるのかがわかり、校内で検討していきたいです。支援者側の思い、学校側の配慮がわかりました。
- ・ 越田先生の話からいろいろなヒントを頂きました。お金をかけなくても開かれた学校づくりができそうなので、教職員の視野を広げて今後取り組んでいきたいです。
- ・ 講演の中で学校と企業等を結ぶ外部コーディネーターがいれば、もっと活用しやすくなると感じました。各ブースを回っていると、外部コーディネーターの役割をはたしているところもあり、それを知ることができただけでも有意義なものとなりました。また、各企業・団体が無料または交通費、材料費程度で技術提供していただけたところが多く、今まで講師謝礼で苦勞する部分があったので、これから活用したいです。
- ・ 教員以外の人たちから様々な話を聞くことができたことは、子どもたちに色々な形でかえしていけると感じました。パネルディスカッションは、今までにない形でとても新鮮でした。
- ・ パネルディスカッションでは支援者の方の思いが伝わりよかったです。地域・企業の方が教育について、思いをもって活動に関わって頂けていることを確認できたことが一番の収穫でした。
- ・ 学校に負担がかからず、それでいて効果的なコーディネートのやり方が少しわかった気がしました。
- ・ 日常と非日常のつながりの重要性がわかりました。非日常をうまく位置付ければ、日常の学習もうまくいくでしょう。
- ・ ブース見学は、より具体的にイメージできたとともに、子どもを育てたいという思いを強く感じられました。
- ・ 講義では越田先生が、いくつかの事例を取り上げてわかりやすく話をしてくださり、コーディネーターの役割がわかったような気がしました。ブース出展では、興味深い内容のお話を聞いたり資料を頂けたので、良かったと思います。
- ・ ブースを回り、子どもたちの学習に生かせるヒントが得られました。直接内容にふれられてイメージだけだったものが具体的に、連絡をとって活用したいです。

- ・ 様々な企業が「学校支援メニュー」を用意していることを知り、是非利用したいと思います。
- ・ 学校と地域を結ぶ事は手続きが多く、難しいものだと思っていたが、声のかけ方や関わり次第でもっと容易なものであると気づかされました。
- ・ 子どもたちが変わる成長するような、いい出会いを提供できるような取り組みのヒントが得られました。
- ・ 様々な情報が得られてよかった。もっと早く知っていれば学習課程の中に取り入れられそうな内容がたくさんありました。早速、学校に帰って前向きに検討していきたいです。
- ・ ブース出展では新たに学習できた内容もありよかったです。ただ、人数が多く、じっくり回る時間が少なかったのがやや残念です。来年度以降も続けてほしいです。
- ・ いろいろな事例を聞き、幅が広がりました。パンフで見るだけでなく、相方向で支援が聞け、イメージしやすくなりました。
- ・ 支援の具体的な内容がよくわかり、「学校支援メニューを活用できれば」と思うとともに、他の職員にも伝えていきたいです。ただ、講義での「第三者的コーディネーター」をどうすればいいのか、誰が、どこが作っていくのか、やはりそういう方がいないと地域とはつながりが深められないかと思いました。
- ・ ブース出展では、文書案内では簡素すぎてわからないことが実際に見る事ができてよかったです。多く出展されているながら、回りきることができなかつたです。
- ・ 実際の授業の仕方などもよくわかり、社会全体で子どもを育てていくことの大切さを感じました。
- ・ 「この授業にこれはいけるのではないかと頭の中でいろいろ考えて組み立ててみました。予算のことは気になるけれど、いろいろやってみたいという気持ちになる研修でした。
- ・ ブース出展がわかりやすく予想よりよかったです。支援者の熱心な姿がすごかったです。交流が丁寧にできていました。
- ・ ブース出展はより具体的に説明を受け、短い時間でアピールされる熱意を感じました。学校の教育現場に必要なものも多くあり、いくつかを実践したいと思いました。今回の研修で得たヒントを活用したいと思います。

その他 教職員の感想より

- ・ ブース展示で企業や団体等がここまで協力してやって頂いていることに感激しました。
- ・ 学校と地域を結びつけるためには、教員だけではなかなか進んでいけないということがわかりました。後は、管理職にもしっかり理解してもらいながら全体的な取り組みにしていく必要があることがわかりました。
- ・ 企業・地域の連携の在り方について、今までにない熱い想いをもちました。
- ・ 新たな負担を増やさないという考えは賛成ですが、様々な工夫もしなければならぬということであれば、やはり負担も増えるのではないかと考えました。
- ・ 今日のような研修はコーディネーターの新任研修だけにとどめず、学校と地域を結ぶコーディネート担当者研修として、次年度また担当になったとしても受けたいです。
- ・ 学校外に地域と学校をつなぐコーディネーターが必要です。
- ・ 負担増にならないように窓口となる教員は、他の教員に伝えるための資料準備、打ち合わせが必要です。ただ丸投げできるはずもなく、当日の運営・時間の持ち方などを考えなければならぬですし、教材などもそのままでも工夫を加える必要があります。しかし、子どもたちにとってきっと有意義なものになると思います。
- ・ 研修会案内等は、時間に余裕をもって送って頂けるとありがたいです。
- ・ ブースの担当の方が本当に熱心にお話しを下さるので、時間が足りないと思いました。とてもいろいろなことを話して頂いたので勉強になりました。
- ・ 主任クラス以上の先生にも見て頂きたいです。
- ・ どうしても学校は年間計画を立てるとはいえ、直前に日程が決まることが多いので、気軽に頼めるようなシステムがほしいです。毎年マナー講座を依頼しても、年度により来られる人が変わり対応が難しいので、こちらから指定できるとつながりもでき、生徒の様子も知ってもらいやすいと思いました。誰でも支援メニューフェアに参加できるとよいですね。
- ・ 今日の研修で、地域コーディネーターの役割の大切さを認識しました。「支援メニュー」について各教科別に分かっていると回りやすいと感じました。「支援メニュー」紹介はコーディネーター以外にも必要だと思います。コーディネーターが各学校で紹介すればよいのですが、実際に見て説明を受けるのとずいぶん違うのではないかと感じました。

- ・ 「教育」は学校だけでなく、「子どもの成長を伸ばそう」と企業・NPOなどあらゆるものが助け合って、今考えられていることがより強く感じられます。
- ・ 学社融合の大切さを、改めてその思いを強く感じました。学校へ帰って紹介して、学習に生かしてもらえるようにしたいです。子どもたちの成長には、社会教育を受けることによって、より豊かに人生がおくれると思います。
- ・ パネルディスカッションは、学校と団体側とが一緒になっての初めての交流会で、よい試みだったと思います。しかし、参加者としての学校側、企業・団体の意見を会場から出してもらう時間がなかったのが残念に感じました。
- ・ 参加する前に学校・学年の教育課程を把握し、取り入れていこうとする心の準備が必要であると思いました。来年度からは職場に早めに提示し、活用していきたいと思いました。
- ・ 黄色の紙に協力企業等を利用させてもらった場合、料金が発生するか否かを書いてほしかったです。
- ・ 午前中の前半の話が長すぎるように思えました。
- ・ 「学校支援メニュー」があるのは知っていましたが、実際の企業・団体の話を聞く機会を得られて、より身近なこととなりました。イメージが湧いてきたので、とてもいい企画だと思います。
- ・ ブースを回って支援の概要を知ることができ、是非活用させて頂きたいと思いました。滋賀の教育を支援する体制がこんなに整備されていると初めて知りました。いくつかをピックアップして実際に体験させていただいたら、より分かりやすいかもと感じました。社会見学の受け入れは学校としては、大きな支援になると思います。大規模校はなかなか受け入れて頂けないので、たいへん苦勞しています。受け入れ先一覧の情報があれば助かります。
- ・ このフェアの紹介を各教科の部会(研究会)にお知らせして、PRしてもらうのはどうでしょう。
- ・ 広くこのようなブース出展を教育センターの5年次・10年次研の内容に取り入れると、もっと授業が変わると思います。若い人材に早く知らせる必要があるのではないのでしょうか。
- ・ たくさんの方々がフェアに参加していただけてよかったです。
- ・ プリントや紙ベースでは支援メニューの紹介は限られてきますが、「におねっと」のホームページであればもう少し詳しく内容の紹介できるのでは。実践事例をたくさん紹介してほしいです。
- ・ 最初は疑問でしたが、地域、保護者との連携が今の学校の困難さの解消のキーとなるように感じました。自分なりに消化しながら考え、実践していきたいと思います。